

提供日 2023/10/20
タイトル ツキノワグマに対する注意喚起について
担当 くらし・環境部 環境局 自然保護課
連絡先 自然保護班 TEL 054-221-2719



ツキノワグマに対する注意喚起

令和5年10月20日、河津町の梨本国有林内においてツキノワグマ（以下「クマ」という。）が錯誤捕獲され、その場で放獣しました。

1 経緯

日時	状況
10月20日 11時前後	・伊豆森林管理署及び環境省下田管理官事務所から賀茂農林事務所にクマ確認の連絡があった。
14時	・賀茂農林事務所、伊豆森林管理署、河津町、麻酔の資格をもつ事業者が現場に向かったところ、伊豆森林管理署が設置したニホンジカ用のくくりわなにクマが掛かっていた。
15時頃	・クマに麻酔を注射した。
15時30分	・麻酔が効いた後、わなを外してクマをその場で放獣した。 クマの体長は最大約120cm。 クマに外傷はなく、山に向かって歩いて行った。

2 対応

- (1) 伊豆森林管理署にて、放獣した林道のゲート入り口に注意喚起の標識を設置する。
- (2) 以下のとおり、県民へ注意喚起する。

今回確認されたクマは、人為的な餌などに餌付いたり、集落に出没しているわけではないため、日常生活において過度に警戒する必要はありませんが、今年度は、全国的にクマの出没が増え、人身被害も過去最多となっております。県内では今年度の人身被害は発生していませんが、出没件数は昨年度より増加しています。冬期に向けて餌となる木の実などを求め行動が活発化することから、クマとの遭遇や人身被害を避けるため、以下のことに注意してください。

また、クマを目撃した場合は市町又は県農林事務所へ御連絡ください。

① クマに出会わないための対策

- ・山に入る時は、鈴やラジオ・笛を用意して自分の存在をアピールする。
- ・山に入った際に出た生ゴミなどは必ず持ち帰る。
- ・クマの活動が活発な早朝や夕方の入山を避ける。
- ・雨風の強い日や沢沿いはクマが人間に気づき難いので注意する。

② クマの出没対策

- ・クマのエサとなる生ゴミや不要になった農作物、収穫しない果実、落下した果実などは放置せず適切に処分する。
- ・クマは明るい場所を避けるので、山と接している藪などを刈り払い、見通しを良くする。

③ クマに出会ってしまったときの対応

- ・50m以上離れていたら、落ち着いて音をたてず、反対側に逃げる。
- ・距離が短かったら、刺激しないように落ち着いて、背中を見せずに後ずさりする。後ろ向きで走って逃げると追いかけてくる習性がある。
- ・攻撃してきたら、窪地などに腹ばいになり、両手を首筋の後ろでしっかりと組み、両肘で顔を守る。

【参考】静岡県内のクマの出没件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R 3	1	28	8	7	6	5	13	4	7	2	1	0	82
R 4	2	4	4	2	2	1	3	1	0	1	1	0	21
R 5	3	9	6	10	2	2	-	-	-	-	-	-	32

県ホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1017680.html>